

吳竹心技

吳竹鍼灸柔整專門學校情報誌 [Kuretake Shingi] 2013 / vol.3



学校法人 吳竹学園

吳竹鍼灸柔整專門學校

【呉竹心技】

木の芽も急にのび、緑の色も日まじに濃くなる今日この頃ですが、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より学校教育にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、早いもので「呉竹心技」も3回目の発行を迎えることになりました。前号では「超高齢社会」について触れましたが、折しも先日「高齢化・大都市圏で加速」というニュースが報じられました。都市部を中心に多くの自治体で、少子高齢化が予想を凌ぐ勢いで進展し、経済や社会保障制度に深刻な影響を与えるというものでした。

この「少子高齢」の問題は、私たち医療業界にも影響を与えています。高齢の患者さんでは、1人で多疾患・多愁訴を有し、かつ慢性病で治りにくい傾向があります。また、重篤な後遺症を残してしまう疾患を持つ患者さんに直面するケースも増えていきます。つまり、これまでの医療サービス、医療システムの枠組みでは対応が難しくなってきているのです。だからこそ、病気や疾病を全人的に捉え、QOLの向上或いはその維持を目的とした包括医療の重要性、また施術所と病院との連携の必要性を強く感じています。

こうした背景から学校教育では、単に鍼灸マッサージ、骨接ぎの治療が出されれば良い、と言う時代は終わり、

地域包括医療に関わる幅広い知識と技術を持つ治療家を養成しなければなりません。本校では従来の教育の他に、基礎分野の科目に工夫を加えたり、実技授業、臨床実習の充実を図ったり、時間外授業を活用して対策をしたりしています。また、卒後の臨床講習会にも注力しているところでもあります。

これからも会員皆様の貴重なご意見を戴きながら、一層の学校教育の充実を図って参りますのでよろしくお願ひいたします。

最後になりますが、本校は今年で創立60年という節目の年を迎えます。今日までの発展は校友会会員の皆様方のお力添えのおかげであると改めて感謝申し上げます。そして昨年には大宮校で初めての卒業生を送り出し、校友会組織もますます充実して参りました。会員の皆様方には、3校を含めた呉竹学園に今後とも温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご活躍を祈念いたします。



呉竹学園 呉竹鍼灸柔整専門学校
学校長 小林賢次

呉竹心技 卒業生の 今

入学される前はどのような職業をされていたか？

中学・高校で保健体育の教員、大学では講師をしていました。またスポーツ医学を学んできた経験からスポーツトレーナーとしても働いていました。

資格を取得しようと思ったきっかけや経緯を教えてください。

教員時代にさまざまな運動法で健康をサポートしていくうちに、各々の生涯を通じて健康とは何かと思うようになり、模索する中で東洋医学に出会いました。病気や怪我になつた時に自ら治せる力を身につける事が一番の健康であり、また体が不調に傾いている時(未病)にもアプローチできる東洋医学の対応力に感銘を受けました。その知識と技術を身につけ、多くの人に伝えると共に自身の健康にもつなげて行く事が私の使命だと思い、資格を取ろうと決めました。

現在、開業されている治療院は、どのような治療院ですか？ また、開業されるまでの経緯を教えてください。

入学当初から経絡治療学会の梅田勲先生、

またオステオパシー治療の齋藤巳乘先生より大変多くの事を学びました。私の治療は筋骨格系の症状はもちろん、多くの症状に対応できる脈状診を基にした経絡治療、経絡指圧、オステオパシー治療を主体とし、医療機関と提携した保険診療や訪問治療も行っています。体操クラブや幼稚園でのトレーナー活動を始め、栄養指導、各種体操法、運動法、リハビリ法等も老若男女、各種スポーツ選手まで幅広く対応しています。また心理学博士によるカウンセリングや、妻が行うホメオパシー療法、スポーツ栄養学、分子整合栄養療法なども取り入れて、総合的に患者様に対応できる体制を作っています。治療環境にも配慮し、草花に満ちあふれる五感の刺激を大切に治療院にしています。

開業して良かったことや、やり甲斐を感じることを教えてください。また、その反対に苦労されたことは何ですか？

私たちが信頼してくださり、ご紹介してくださる方が多い事に本当に感謝しています。以前、ずっと診ていた患者様の臨終の場に医師と共に呼んでいただいた事がありました。患者さんと医師と私の間に信頼関係があった事はとても意味のある事だと思います。生老病死と言う

目次

【呉竹心技】校長あいさつ	1
呉竹鍼灸柔整専門学校 学校長 小林賢次	1
卒業生の今	1
卒業生がこんな事やっています／卒業生の集い	5
在校生紹介	6
第24回呉竹医学会学術大会 開催報告	8
学園祭	9
卒前臨床講習会	10
《美容鍼》	10
第15回卒後臨床講習会	11
《臨床美容マッサージ》	11
平成24年度 呉竹会 前期・後期講演会	12
ご案内	12
● 発刊図書のご案内	13
● 平成25年度卒後臨床講習会のご案内	13
インフォメーション	14
● 国家試験合格速報	14
● 学校説明会日程&入試日程	14
● イベント案内	14
呉竹心技 [Kuretake Shingi] 2013 / vol.3	14
発行所……………呉竹鍼灸柔整専門学校	14
発行……………2013 / 4	14
編集……………呉竹心技編集部	14
◎ 呉竹鍼灸柔整専門学校	14
本誌掲載の写真・図版・記事の無断複写・転写を禁じます。	14

言葉がありますが、全ては自然な流れの中にあり、その道筋を人として共に支え、支えられる事が出来たという事は素晴らしい経験になりました。

今後の目標を教えてください。

スポーツ選手や症状に合わせた食事や提供できる知識と技術を学べる講座を開き、総合的に健康をサポートしながら、人との繋がりを今以上に深めて行きたいと思っています。

これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスをありましたらお願いします。

患者様の病状・容体を理解するためにも、日頃から健康とは何かを身近に感じる事が大切です。そして患者様と同様、自分自身の事も大切にしてください。誰でも心身ともに健康な人から治療を受けたいのですから。セルフケアに東洋医学は最高の力を発揮します。また尊敬できる良い師や互いを高め合える良い友を持つてください。この道の学びは、愛を形として伝える方法や身につける事だと思えます。身近な人に感謝と愛を返していく事、それが多くの人に広がり行き最後は自身に戻って来る。最高の仕事だと思っています。



鍼灸マッサージ科(1992年卒)

大内 智有紀先生



柔道整復科(2008年卒) 鍼灸マッサージ科(2008年卒)

長谷川 一幸先生

ケア・キュア上天神マッサージ整骨院
(静岡県熱海市)

入学される前はどのような職業をされていたか？

大内(以下・大)・・・1〜2年ほどエヌティエシヤンをしていました。

長谷川(以下・長)・・・高校を卒業後、呉竹に進学しました。

資格を取得しようと思ったきっかけや経緯を教えてください。

大・・・もともと実家が鍼灸マッサージの仕事で開業していたこともありですが、美容学校の先生に鍼灸の道を勧められたことがきっかけです。長・・・部活で怪我をした時に顧問の先生から接骨院を紹介され、治療や細かいサポートを



柔道整復科(2008年卒)

信田 直介先生

スマイルサポート鍼灸整骨院
(東京都町田市)



入学される前はどのような職業をされていたか？

3年ほど商社で営業をしていました。

資格を取得しようと思ったきっかけや経緯を教えてください。

社会人3年目の時、チベット旅行で大げがをし、入院と長期のリハビリをしました。そのとき治療の効果を実感し、今度は自分が人を救えたらいいなと思い、脱サラしました。他にも

受けて自分もこのような仕事に就きたいと思ひ、呉竹に入学しました。当初は柔整でしたが、周りから東洋医学の話も聞いていくうちに興味が湧き、治療の幅を広げるために鍼灸の資格も取得しました。

学生時代の思い出や、印象に残っている授業、エピソードなどを願います。

大・・・試験の口頭試問で答えが出なくて、泣いてしまったこともありました。

長・・・柔整科の頃は、すべての授業が新鮮で医学の勉強をしているという楽しさがありました。本科では学園祭が印象に残っています。国試直前に、クラスメイトと渡辺広先生のお腹を触りに行くと、縁起を担いだこともありました。

現在、勤務されている治療院は、どのような治療院ですか？

長・・・スタッフの年齢層が若く、エネルギーが溢れる治療院です。また、近くの病院と連携をとれているのが大きな特徴です。病院から患者様を紹介してもらったり、こちらからレントゲンの依頼や緊急時の対応など、そういう連携ができます。また、研修という形で整形

医療従事者としての選択肢はありましたが、患者さんと長く付き合っていける今の仕事に魅力を感じました。

現在開業されている治療院は、どのような治療院ですか？ また、開業されるまでの経緯などを教えてください。

転職するとき周りからはすごく反対されましたが、治療家として生きる決意を固めて会社を辞め、自動車工場で1年ほど期間従業員として入学資金をためました。東京校で鍼灸の資格を取得し、横浜校で柔整科にも通いましたが、年齢的な焦りもあり柔整1年目の夏休みには細々と開業しました。最初は紹介などを通して訪問マッサージを始め、そのうち呉竹の同級生が加わり、外来、接骨院、と始めるうちに、口コミですぐにいい評判になり、もう少し広い場所を探してここへ来ることになりました。資金の面でもひとつの勝負でしたが、自分の理想像があったので内装からすべてにこだわりました。治療院の特徴としては、メニューのラインナップを揃えることで幅広いニーズに応えることです。訪問マッサージ、外来に加え美容に関するメニューもあります。美容は、主婦層の患者さんが健康に興味を

外科やリハビリ室、オペ室で実際の診察や治療の現場を見学させていただきました。医師と患者さんとの実際のやりとりを見ることは、本当にいい勉強になります。

大・・・今までの鍼灸は閉ざされた中に行っていたと思います。中には鍼灸を認めてないドクターもいらつしました。病院との連携は、ドクターと鍼灸師の相互理解という点でも意味があるとあります。

勤務して苦労したことや良かったこと、やり甲斐を感じることを教えてください。

大・・・整形外科、リハビリテーションの病院と2カ所で鍼灸師として勤務していた時に、西洋医学的か東洋医学的か、どちらの方向でアプローチするかという位置づけが大変でした。ただその経験が今、私が提供している治療法になっていますので両方の医学からアプローチできるようにしています。最終的には患者さんが楽になっていただけるのが一番だと思います。長・・・高齢者が多いので色々大変ですが、治療を継続することで患者さんの日々の変化が見られ、やり甲斐になっています。

今後の目標を教えてください。

もつきっかけになります。きっかけは何でもよいので、最終的に体の内側から健康的で、美しい生き方をしてもらえればと。そういったコンセプトから、看板もピンク色にしたり、女性も入りやすい治療院を意識しています。できれば元気なうちに健康や食事などに興味をもってもらいたいという思いで、予防医学の啓発活動もしています。

開業して良かったことややり甲斐を感じることを教えてください。また、その反対に苦労されたことは何ですか？

1人でも信頼し合える患者さんがいるとものすごくやる気や勇気が出ます。スタッフが成長して患者さんに信頼される人間になっていくのを見るのは嬉しいです。苦労としては、最初人と一緒にやっていくことに勇気がいりませんでした。スタッフ教育にも注力しているので、会社の全面支援で外部のセミナーなどに行つてもらっていますが、スタッフの成長を信じて待つことは大変です。

今後の目標を教えてください。

1つには、私の主観ですが、この業界はオー

大・・・昨年リンパ浮腫療法士という認定資格を取得し、リンパ浮腫の治療に携わっています。病院の協力を活かしてもっとスキルアップし、自分なりに治療を確立していきたいと思っています。治療院としては、個人のみではなく院全体のレベルを上げていくことも一つの目標です。

長・・・様々な場面でもっと勉強しなきゃいけないと感じます。病院で勉強したりリハビリや診察などを参考にしながら、いかに所見や問診によつて症状を割り当て治療の効果を上げていくかに注力したいと思っています。そのためにも、さらに多くの患者さんを生懸命見させてもらいながら技術向上させ、人としても成長していきたいと思っています。ケアマネの資格も勉強中でさらに幅広く活躍できるよう頑張ります。

これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

長・・・これで終わりということは生ないと思うので、初心を忘れず向上心を持つて勉強してもらいたいと思います。大・・・あらゆる面で厳しい世界なので、意識を強く持つて頑張つてほしいと思います。長く続けられる仕事ですし、すごくいい世界だと思います。

ナーの一人勝ちというか、従業員は使い捨てみたいなところがあるので、そういった体制を変えたいと思います。2つ目は、医療と福祉の連携を自らリードし、より多くの患者さんに寄り添っていくことです。現在事業所を3つ構えています。そのうちの2つは訪問の歯科医や居宅介護事業所などと連携しています。その延長で介護事業や、あらたな接骨院を構えるという展開も考えています。そして3つ目は、地域の活性化です。現在この地域の商店街で理事をやっていますが、自分だけが成功するのではなく、町全体に活気を取り戻し、みんなが安心して暮らせる街づくりを目指していきたいです。治療院にも地域にもどんだん花を咲かせていきたいなと思つています。

これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

本当にやりたければ絶対にいい仕事だと思えます。自分が商品になるので、人を好きになり、様々なことに興味を持ち、いろんな経験をして自分らしさを磨いてください。苦難もよい経験になると信じて前向きにやってみてほしいですね。



鍼灸マッサージ科(2007年卒)
門脇 美穂先生
みなきた治療室
(神奈川県横浜市都筑区)



入学される前はどのような職業をされていたか？

高校で英語の教師をしていました。教師の仕事もやりがいがありました。一方で鍼灸師になるといふ思は小さな頃から常にありました。今思えば、教師という職業も鍼灸師になるための布石だったのかもしれない。

卒業生がこんな事やってます

山下 勝子さん

私は、昭和57年に熱海校を卒業し、現在、自立高齢者の機能訓練を行っています。高齢者社会では、如何にいつまでもはつらつと自尊心を持って自立した生活を送るかが重要です。その為には、地域の絆、地域の取り組みが大切になってきます。私が住む沼津市では、地域でのコミュニティ祭り、地域の旅行、朝のラジオ体操、生涯学習地域講座、行政の出前講座など活発に行われており、私自身も行政や地域の支援を受けて取り組んでいます。

資格を取得しようと思っただけや経緯を教えてください。

教員時代に誇張法とロルフイングという治療を受けていました。体が良くなると同時に心も楽になりました。自分もこれができたら素敵だなと思いました。その時のマッサージ師の先生が行う講座の受講条件が医療資格取得者だったということが、免許を取ろうと思っただけです。

現在、(開業(勤務))されている治療院は、どのような治療院ですか？ また、(開業(勤務))されるまでの経緯などを教えてください。

誇張法という特殊なオステオパシーの治療院です。誇張法のみで調整を行う治療院は珍しく、遠方からの患者様もいらっしゃいます。全身を調べてから、硬くなっている関節を1時間程かけてごく弱い力で微調整して、動いている時にストレスがない体になります。場合によっては経絡治療を行うこともあります。混合はしません。開業までの経緯としては、まず呉竹に入って鍼灸マッサージの資格を取得しました。呉竹以外にも各大学の先生方の勉強会に参加しました。そういった先生方や友人の協力もあり、卒業後すぐに開業しました。

呉竹学園の学校生活で、思い出とか印象に残っている授業は？

内容の濃い座学や追試も多かった実習など大変なことはありましたが、その分、身に付き、役立つことを教わる喜びがありました。渡辺広先生の解剖の授業では、イメージや例えを上手に使って臓器の構造を分かりやすく教えて頂きました。また、鈴木先生の医療を志す者の心構えの話も忘れられません。按摩の授業のあと、中年組の居残り指導をしていただいたこともありました。先生方は後発組の私たちのことも、暖かく厳しく見守ってくださいました。

開業して良かったことや、やりがいを感じることを教えてください。また、その反対に苦労されたことは何ですか？

初めての自営業で苦労することもありました。すべて自分で考えなくてはならないことは、厳しい時もありますが、同時に良かったことでもあります。やりがいを感じるのは、患者様に変化が見られたときです。特に、どこへ行ってもダメだったケースが改善して喜んでいただけるときは嬉しいものです。少しでも良くすることを諦めないことも大切です。

運動や身体活動をする事で、骨や筋肉に適度な負荷をかけ、転倒しても骨折をしない体力やバランス能力、俊敏性の獲得を目的とし、衰える筋・骨格の機能を維持し、なんとか寝たきり状態を先送りしたいと願っています。散歩をする声かけられたり、高齢者のADL(日常生活動作)向上のために取り組み始めた脳トレ・筋トレが、気がついたら健康づくりの知識や実践が身についたと喜ばれることもあります。

今後も地域の中で、QOLの向上に貢献していきたいと思っています。



今後の目標を教えてください。

亡くなってしまった恩師の技術に少しでも近づいたため、臨床の場や同業の友人とお互いに学びあっていたいです。まずは技術の向上を第一に、色々な角度から人を元気にできる場所を作ることが大きな夢です。

これから医療の道を志す方に対してメッセージやアドバイスがありましたらお願いします。

誰かができるなら自分でもできるかもしれないと思っただけです。「人に感謝されたいと思っただけ、こんないい仕事はない」と言う友人がいますが、その通りだと思います。大変ですが、いい仕事です。



卒業生の集い

熱海校の卒業生数名で始まった毎年恒例の「静岡の忘年会」。平成24年12月17日の忘年会では、20名近くの卒業生が集まり、熱海時代の懐かしい思い出話を花を咲かせました。他にも、同窓会や勉強会など、耳寄りな情報がありました。是非お知らせください！皆さまからのお便りをお待ちしております。【連絡先】呉竹鍼灸整専専門学校 呉竹心技編集部 電話：045(471)3731



在校生紹介

■ I部授業 (9:30~12:40)

■ II部授業 (13:30~16:40)



柔整科II部 3年・鍼灸科I部 2年
小嶋 毅弘さん

資格を取ろうと思ったきっかけ

ラグビーをやっていた高校時代にスポーツトレーナーに憧れ、JASA-AT (日本体育協会 公認

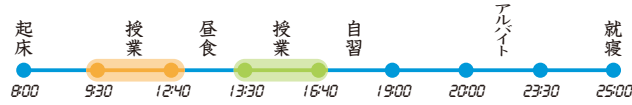
アスレティックトレーナー)を取得するために大学に進学し、現場に強いトレーナーを目指そうと考えたのがきっかけです。競技の場に常に医師がいる環境はなかなか無く、代わりにトレーナーが応急処置を行う場合が多いのです。そこで、外傷に強いトレーナーになるために、JASA-AT 取得後、柔整科

へ入学しました。また鍼灸に関しては、外傷後のケア、コンディショニングを目的に1年ずらして進学し、ダブル通学しています。

資格取得後の進路(夢・展望など)

将来は、自分の治療院を持つとともに、スポーツトレーナーとしてチームに付きたいと思っています。

小嶋さんのある一日



柔道整復科I部 2年
栗原 奈々さん

資格を取ろうと思ったきっかけ

最初はただ、姉の肩のみから始まりました。私の拙い肩のみでも、姉

がすごく喜んでくれたのが嬉しくて、それならば、もっとしっかりと医療技術として学んで多くの人に喜んでもらいたいと思うようになり、資格を取る決心をしました。

痛みや苦しみを抱える患者様と、同じ目線で話ことができ、安心感を与えられるような施術者になりたいです。そして開業したら、患者様だけでなく、そこで働く施術者も、皆が笑顔になれるような場所にしたいです。

資格取得後の進路(夢・展望など)

栗原さんのある一日



柔道整復科II部 2年
肥田 貢次さん

資格を取ろうと思ったきっかけ

学生時代、野球部に所属していた時、仲間が肩の痛みを訴えた。自分なりの考えで、見よう見まねの施術を行ったら肩の痛みが取れたように、私自身、大きな喜びを感じたのがきっかけでした。その後、野球プレーヤーを退くにあたり、何か野球界への恩返しができないかと考えた

ときに、学生時代のことを思い出し、治療家の世界に飛び込みました。

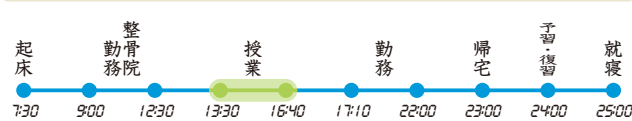
資格取得後の進路(夢・展望など)

野球肘、野球肩などで、全力でプレーできない人達を救いたい。野球はボールを精一杯投げられなくなると退屈なもの。それで野球を楽しめずに辞めてしまう人を数多く見てきたので、そんな人々を一人でも減らしたい。だから必ず開院するのだが、その前にやることは多々ある。

プロ野球球団のトレーナーになり、

プロの体、考え方、トレーニング法を学ぶ。毎日試合があることを前提としたケアやコンディショニングの方法を学ぶ。そして開院後は、子供達、プロを目指している学生達にプロのノウハウを伝授していく。また、アメリカでのプレー経験を活かし、アメリカ人の考え方の違い、日本だけが野球をする場では無いこと。日本人が世界で通用する方法なども、将来のプレーヤーのために伝えていく。痛み、悩む人を一人でも多く救うことが、私の使命だと思っています。

肥田さんのある一日



鍼灸マッサージ科I部 2年
細田 陽子さん

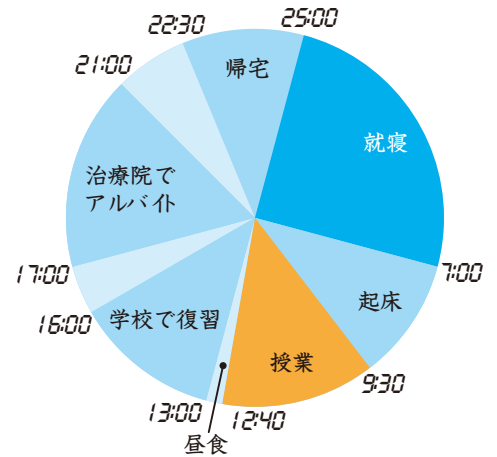
資格を取ろうと思ったきっかけ

美容関係の仕事をしていた時に、健康的な美しさ、アンチエイジング、ホルモンバランスなど、女性が一生をとおして訪れる身体の変化に興味をもちました。その時に、美容鍼との出会いがあり、人間が持っている自然治癒力で身体の内側から綺麗にするというアプローチの仕方があることに感動しました。また、東洋医学的な身体診かたにも興味があり、体表(顔色や舌脈など)やツボの反応を診て内側からの不調を理解できた素晴らしいと思い、鍼灸師を志しました。

資格取得後の進路(夢・展望など)

いつまでも健康で美しくありたいという要望に応えられる鍼灸師を目指したいです。美容についての悩み、婦人科疾患など、少しでも身体の不調を感じたらまずはあそこの治療院に行ってみようと思ってもらえるような施術者になりたいです。

細田さんのある一日



鍼灸マッサージ科II部 2年
松島 二郎さん

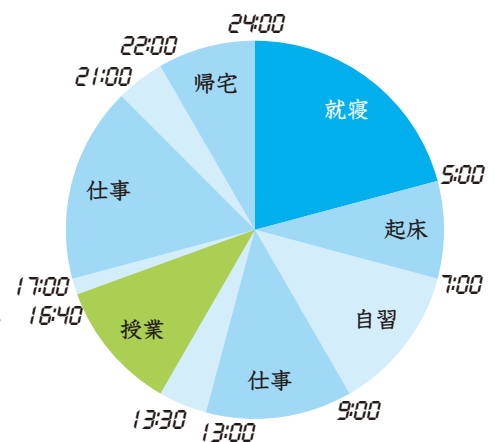
資格を取ろうと思ったきっかけ

プロボクサーとして現役の頃、本当に鍼灸治療には助けられました。現在はプロを指導する立場にいますが、残念なことにほとんどの選手が鍼治療の効果を知らないでいます。それならば、私自身が資格を取って、選手達の力になろうと思ったのがきっかけです。

資格取得後の進路(夢・展望など)

ボクサーだけでなく、スポーツ選手の一番の悩みは怪我です。その一番の悩みを一つでも多く解決することが私の目標です。そこから、数多くの世界に羽ばたく選手が育つことが私の夢です。

松島さんのある一日



第24回 呉竹医学会 学術大会 開催報告

平成24年10月19日(金)、呉竹鍼灸柔整専門学校にて第24回呉竹医学会学術大会が開催されました。

この学術大会は、呉竹学園3校(東京校・横浜校・大宮校)の在校生・卒業生・教職員が一丸となって作り上げる「大イベント」です。日頃の研究成果を発表するだけでなく、臨床の場で活躍されている著名な先生方を講師にお迎えし、様々な視点から医学知識・技術の研鑽を図る場となっており、各会場には人が溢れるほどの活況を見せていました。実施内容は次のとおりです。

【特別講演】

●「珈琲杯の薬理学」

岡 希太郎先生(東京薬科大学名誉教授)



【実技セッション】
●「誰にでも効果が出せる美容はりテクニク」如何に痛くなく、如何に効果的に結果を出す」
後藤 竜也先生(リンドウグループ 総院長)

●「関節運動学的アプローチ(AKA)」
西海 奉成先生(靴トータルライフケア 代表取締役)
●「スタビライゼーションの基礎理論と実技」医療からスポーツまで幅広い分野で活用できるトレーニングメソッド」
和田 拓巳先生(OxyLifeセララムネージャー、NPO法人日本スタビライゼーション協会 理事)



【教育講演】

●「施術所における「地域医療連携」」
臨床能力を活かした施術所ブライマリーケアの実際」
酒田 達臣先生(株式会社ネットワーク 総院長)

【一般口演】

●台座灸を用いた温熱刺激の違いによる組織酸化動態
大久保 正樹(東京医療専門学校 教員)

●近赤外線分光法を用いた温筒灸の刺激時間の違いによる灸灸効果
中村 真通(東京医療専門学校 教員)

●温筒灸の刺激時間の違いによる灸灸効果(第2報)」継続群と同効果の最短時間を探る」
武田 光司(周気堂治療室)

●上腕屈筋群の筋出力に対する円皮鍼の効果」等張性運動による検討」
與世田 亮太(東京医療専門学校 学生研究会)

●上腕屈筋群の筋出力に及ぼす鍼刺激の影響」等張性運動による検討」
金子 泰久(東洋医学臨床研究所 教員)

●立位体前屈時における腰部脊柱起立筋への円皮鍼の効果」表面筋電図を用いた左右差縮小の検討」
白井 翔吾(東京医療専門学校 学生研究会)

●古典に描かれている皮膚について
中島瑞穂(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)

●動物の鍼灸治療における獣医師と鍼灸師との関わりの可能性
鷲巣 真也(東京医療専門学校 学生)

●中医学の不老不死を学ぶ
白滝 修(東京医療専門学校 学生)

●いわゆる「リラクゼーション」の手法・効果について
川端 梓(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)

●計算能力に対する円皮鍼の効果について
山崎 亮(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)

●身近な調味料を用いた隔物灸とその燃焼温度の評価
川島 千明(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)



●艾の発展史と現状」艾工場見学と切り艾製作を通して」
高野 静子(東京医療専門学校 中国語研究会)

●「史記」扁鵲倉公列伝における脈と鍼灸治療
古屋 英治(東洋医学臨床研究所 教員)

●前腕骨急性可塑性変形の保存療法」モンテジア類似損傷と徒手整復法について」
深澤 晃盛(野島整骨院)

●シンスプリントの鍼灸治療に於ける解剖学的考察
上原 明仁(東洋医学臨床研究所 教員)

【症例報告会】
●冷えが原因と思われる内耳障害の症例
窪田 勤(呉竹鍼灸柔整専門学校 鍼灸マッサージ科附属施術所 研修生)

●競技力向上を目的にトレーニングと鍼を
実施した症例
紀平 晃功(東洋医学臨床研究所)

●肩甲骨内縁の痛みに対する鍼灸治療」灸は急に効く」
小島 周(東京医療専門学校 鍼灸科附属施術所 研修生)

●肩関節痛に対する鍼灸治療の適応」クリニクとの連携による施術」
飯田 双海(呉竹鍼灸柔整専門学校 附属はり・きゅう施術所 研修生)



平成24年6月2日(土)、呉竹鍼灸柔整専門学校にて学園祭を開催しました。

「昨年は東日本大震災の影響で中止になってしまいましたが、今回は「東日本大震災復興チャリティー」として開催し、チャリティー鍼灸、チャリティーマッサージをはじめ、多くの皆さまに、協力いただき、合計117,395円もの寄付をいただくことができました。集まったお金は全額、「日本赤十字社」を通じて「東日本大震災復興義援金」として寄付させていただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

次回の学園祭もお楽しみに！ たくさんのお客様の模範店を用意してお待ちしております！



平成25年6月1日(土)開催決定！

- 「フィンスマーに対する鍼治療の二症例(1)」
ストリウムライン保持困難の改善」
湯浅 安理(東洋医学臨床研究所)
- 「アトピー性皮膚炎に対する鍼灸治療の症例報告」
長谷川 雄三(呉竹鍼灸柔整専門学校 鍼灸マッサージ科附属施術所 研修生)
- 「肩関節周囲炎に対する鍼灸治療の一例」
肩関節の痛みに伴う可動域制限の改善」
篠原 正行(東京医療専門学校 鍼灸科附属施術所 研修生)
- 「東洋医学臨床研究所ランニング記録会での活動報告 第二報」
柴原 理恵(東洋医学臨床研究所)
- 【分科会】
- 「扁平足が及ぼす機能障害」
大竹 伸好(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「姿勢と症状の相関についての考察」
山崎 由紀也(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「足底補正テーピングが身体に及ぼす影響について」
関口 将(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「産前産後の身体の変化と対策について」
小倉 正和(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「市販されている単回使用電鍼の種類とその選択」
伊藤 香苗(東京医療専門学校 学生)
- 「現代の柔道整復師のあり方」
東日本大

- 震災をふまえて」
関屋 大介(東京医療専門学校 学生)
- 「少年期による野球肘について」
金沢 英輝(東京医療専門学校 学生)
- 「高齢者と柔道整復師の関わり方」
中川 裕介(東京医療専門学校 学生)
- 「接骨院のイメージ色について」
森谷 将樹(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「短期間で行うダイエットにおける「理想の1日」について」
夏までに引き締まった体を作る」
部 貴之(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「勝ち残る柔整師・治療院になるために」
「繁盛している院は何か違うのか」
上杉 康司(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「ハムストリングスに対するストレッチの効果」
腰痛に及ぼす影響」
西澤 智博(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「肝経の経絡治療による目のくまの改善方法の検討について」
村越 雄太(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「東洋医学的「胃痛」に対する食事指導」
福西 忠(呉竹鍼灸柔整専門学校 学生)
- 「側頭部経穴への刺激によるリフトアップ効果の検討」
瀧本 亜希子(東京医療専門学校 学生)
- 「鍼灸の違いによる使用感に関するアンケート調査」
J-type鍼とJSP鍼での比較」
田村 彰教(東京医療専門学校 学生)

卒前臨床 講習会

《美容鍼》

本校では、教育方針の一つに臨床力の強化を掲げており、在学中には選択講座としての卒前臨床講習会を行い、卒業後には卒後臨床講習会を開催して、実践的な臨床力の向上を目指しています。この度、平成24年10月27日(土)と11月3日(土)の2日間にわたり、美容鍼をテーマとして卒前臨床講習会を実施しました。

最近では、美容鍼の認知度も上がり、実際に施術を受けられる患者さんも増加しつつあり、それ以外にも、美容鍼の施術を行う治療院も増加傾向にあります。美容鍼は、顔面部に刺鍼するので、クリームやトラブルを起こす可能性もあり、施術には細心の注意を払う必要があります。したがって、安易な気持ちで施術を行うのではなく、解剖学に

裏打ちされた知識と、刺鍼・抜鍼などの基礎的な技術をしっかりと身につけ、施術効果を出さなくてはなりません。

講師の後藤竜也先生は、日本やオーストラリア、中国などの治療院、病院などで経験を積み、平成4年に開業されました。現在は、3つの治療院を経営され、多くのスタッフの方々とともに、治療院での鍼灸マッサージをはじめ、在宅マッサージ、オイルマッサージ、フェイシャルなど、多岐にわたる治療を行っています。また、最近ではセミナーや講習会を開催して、業界活性化の活動にも注力されています。



1日目は、美容鍼の特徴やリスク管理についての講義、次に、実技のデモンストレーションがありました。手技は、顔面部の刺鍼だけではなく、四肢や体幹の刺鍼、続いて頭部、顔面部の刺鍼にいたるという施術でした。顔のリフトアップだけでなく、治療を継続することで体調の改善や疲労回復、むくみの改善が期待できるとのことでした。また、治療前と治療後でモデルの顔の写真撮影を行い、両者を比べることで、受講生は効果の即効性を実感しました。



2日目は、再度実技のデモンストレーションポイントを説明しながら、刺鍼する場所や方法の確認をした後、受講生同士ペアになり、お互いに実技練習を行いました。その際、後藤先生やスタッフの方々から細かいご指導をいただき、技術の向上につながりました。臨床の場で活躍されている、ベテランの先生の技術を見せていただき、卒業を目前とする受講生たちは、臨床の厳しさを感じるとともに、鍼灸の効果をあらためて実感し、将来の期待が大きくふくらんだようでした。

最後に、貴重な手技を惜しみなく丁寧に指導していただきました後藤竜也先生とスタッフの方々に、厚く御礼申し上げます。



第15回 卒後臨床 講習会

《臨床美容マッサージ》を 開催しました。

平成24年11月10日(土)、呉竹鍼灸柔整専門学校にて第15回卒後臨床講習会を行いました。今回は、講師に古海博子先生を迎え、『美容マッサージ』の実践です。この道30年以上のキャリアを持つ古海先生は、「美顔」がブームになるずっと以前から美容マッサージに着目され、国内外のさまざまな勉強会に積極的に参加するなど、その研究と実践を重ねてこられました。もちろん、美容に限らず、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師としての幅広い見識と手技にも定評があり、日々学校での教育現場に活かされています。

さて、講習の内容に目を向けますと、初めに



東洋医学的な顔の診察方法や内臓との関連、次いで西洋医学的なリンパの流れ、顔面の筋肉等についての説明があり、施術を行うにあたっては東洋医学と西洋医学の両方の知識が必要であることを強調されていました。今回は顔面への施術を中心に行いました。学校の授業で習う顔面麻痺に対する施術とは異なるため、最初とまどっていました。受講生は日頃、業務で施術を経験しているだけあって、さすがに手つきは滑らかで感心させられました。

顔への施術が一通り終わった後、頸や手掌への施術を行い、最後に「顔は内臓の鏡」という



ことで腹部への施術を例に取り、美顔についても顔だけでなく、全身への施術も必要であるという説明がありました。局所的な治療に終始することなく、全身の調整を図ることで人が持つ本来の機能を向上させ、一層の効果を得られることが分かりました。古海先生の臨床の経験談は、卒業生にとって今後の治療の糧になったと思います。

受講した卒業生の中には、熱海校卒業以来20年ぶりに初めて横浜校に来たという方や、古海先生の授業を受けたことのある人もいて、学生時代に戻って当時の授業さながらに和気あいあいとした雰囲気で行きました。



受講生からは、手技を身に付けようと練習に熱中したので、あつという間に3時間が過ぎてしまい、もうと講習の機会を増やして欲しいとの声も頂き期待の大きさが伺える講習会となりました。

(※注)近年、医療現場だけでなくスポーツや美容の領域においても社会的ニーズの高まりを見せる「マッサージ」ですが、「マッサージ(あん摩・指圧含む)」は、医師以外では「あん摩マッサージ指圧師」にしか認められていない独占業務です。

ご案内

発刊図書のご案内



URL
<http://www.gentosha-mc.com/product/9784344999329>

本書は、「鍼灸」の普及啓発を願い、本学園理事長・坂本歩によって平成25年2月に出版されました。鍼灸は古くから行われてきた伝統医療のひとつですが、一般の人にとってはまだ「馴染みがないもの」という印象を持たれるかもしれません。しかし、近年、欧米諸国を中心に西洋医学と東洋医学を併用した両者の相乗効果に注目が集まり、鍼灸へのニーズは年々高まっています。また、予防医学やオーダーメイド医療、プライベートケアとしても、今後さまざまな領域で鍼灸の活用が期待されています。本書では、そうした鍼灸業界で働く25人の方にスポットを当て、鍼灸の魅力や可能性、鍼灸師としての仕事のやりがいなどを中心に紹介させていただきました。是非一度ご覧ください。



本書制作にあたっては、国家試験を熟知した呉竹学園の総力・叡智を結集し、過去の国家試験出題基準や出題頻度などを精細に分析しています。本書を国家試験合格に導くための参考補助教材として、また自宅学習用のテキストとして活用していただければ幸いです。

「知りたい！はり師、きゅう師のおしごと」 (坂本歩著、幻冬舎メディアコンサルティング)

補助教材「ダイジェストスタディー」 (呉竹学園編)

長年好評を博してきた「コンパクトスタディー」がこの度全面改訂され、「ダイジェストスタディー」として新たにリニューアルされました。

従来の「持ち運びやすさ」はそのままだけに、より効果的かつ効率的に「国家試験攻略」を目指した内容になっています。同時に、3年間の勉強を凝縮した「ダイジェスト(要約)」版でもあります。

平成25年度卒後臨床講習会のご案内

	テーマ	講師	実施日	講習日数	会費
第17回	初歩の臨床介護術	谷 功 先生	6月22日(土) 6月29日(土) 13:00~16:10	2日間	6,000円
第18回	臨床美容はり	後藤 竜也 先生	7月20日(土) 7月27日(土) 13:00~16:10	2日間	6,000円
第19回	AKA 関節運動学的アプローチ	西海 泰成 先生	8月31日(土) 9月 7日(土) 13:00~16:10	2日間	6,000円
第20回	臨床美容 マッサージ	古海 博子 先生	10月19日(土) 10月26日(土) 13:00~16:10	2日間	6,000円

1 申込方法

同封の受講申込用紙に必要事項をご記入の上、募集期間内にFAXにてお申し込みください。会費は、受講日初日に窓口にて受付いたします。

2 会場

呉竹鍼灸整骨専門学校(横浜市港北区新横浜2-7-24) 7階実技室

3 その他

詳細は、本校ホームページまたは携帯サイトからも確認いただけます。不明な点は、左記までお問い合わせください。

【問合先】呉竹鍼灸整骨専門学校 卒後臨床講習会係
 電話: 045(471)3731



前期講演会 『心療内科疾患の動向と対応』 『心と身体の相関』

平成24年5月20日(日)、中川路桂先生(医療法人社団ベテル理事長、産業医)をお迎えし、右記のテーマで講演を開催しました。うつに代表される心療内科疾患は、柔道整復師やあん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師にとっても日頃の診療で遭遇する機会が増えつつあります。その知識や対処方法について詳しく説明していただきました。精神疾患は社会全体の問題という認識に立ち、厚生労働省が開示している『自殺・うつ対策の経済的便益(自殺やうつによる社会的損失)』によると2009年の単年度で推計約2・7兆円に上り、その対応策として一般診療に関わる診療家がゲートキーパーになることで、悩みのある人を迅速かつ的確に



必要な支援につなぐ連携体制が求められています。また、精神科疾患と心療内科疾患との違いでは、日常生活に支障をきたすほど憂うつ感や無気力な状態が長期間回復しないうつ病や、不安を主症状とする精神疾患全般の事を指す不安障害、身体疾患の中でその発症や経過に心理社会的な因子が密接に関与し器質的な機能的障害が認められる心身症、また些細なことに對してひどく怒り、それを自分では抑えられないなど様々な症状

後期講演会 『整形外科領域における画像診断』

平成24年12月9日(日)、呉竹鍼灸柔道専門学校にて後期講演会を開催しました。講師には、整形外科専門医の有沢治先生(呉竹メディカルクリニック副院長)をお迎えし、「整形外科領域における画像診断」と題してご講演いただきました。講演では、まず最初に単純X線、MRI、CTなどの各画像診断法の特長や特徴についてご説明いただきました。



をきたす境界型人格障害の位置づけなど、各々の病気の発生機序、抗うつ薬の種類や特徴までをみていきました。講演の結びでは、心療内科疾患を単なる感情から起こる反応と決めつけず、心情的な働きかけだけで処理しないことや心療内科疾患に罹患している、あるいはその可能性がある場合には、症状増悪を防止するためにも早期の対処が必要であることなど現場レベルでの対応について学ぶことができ、今後に生かせる貴重な講演となりました。

さらに、頸椎椎間板ヘルニア、変形性頸椎症、腰椎椎間板ヘルニア、変形性脊椎症をはじめ野球肩からアキレス腱断裂に至るまで、数多くの臨床画像スライドを交えながら、これらの疾患・病態の詳細について視覚的に理解を深めることができました。今回の講演を通して、画像診断の有効性について改めて再認識するとともに、医師と鍼灸師・柔道整復師の連携が大切であることを知ることができ、大変有意義な講習会となりました。

Information

Kuretake Shingi お知らせ2013 / vol.3

●第21回国家試験合格速報(平成25年3月実施・新卒者)

資格名	受験者数	合格者数	合格率
あん摩マッサージ指圧師	67名	67名	100.0%
はり師	90名	89名	98.9%
きゆう師	90名	89名	98.9%
柔道整復師	67名	62名	92.5%

●学校説明会日程(予定)

- 第1回・・・平成25年6月16日(日)
- 第2回・・・平成25年7月14日(日)
- 第3回・・・平成25年8月18日(日)
- 第4回・・・平成25年9月22日(日)

上記以外にも、平日毎日「学校見学会」を開催しています。

●入試日程 ※詳細は募集要項をご覧ください。

試験区分	試験日	募集学科	試験科目
AO入試 1次	2013年 7月28日(日)	鍼灸科 柔道整復科	適性検査・面接
AO入試 2次	2013年 9月 1日(日)	鍼灸マッサージ科 鍼灸科 柔道整復科	
社会人入試 1次	2013年 9月 8日(日)		小論文・面接
社会人入試 2次	2013年10月 6日(日)		
推薦入試	2013年10月 6日(日)		
一般入試	2013年11月10日(日)		

イベント案内

学園祭

平成25年6月1日(土)10時より呉竹鍼灸柔整専門学校にて第5回“くわたけ祭”を開催します。今年も1日も早い被災地の復興に貢献できるようチャリティーを継続して行います。たくさんのイベント、模擬店を企画していますので、是非ご家族、ご友人の方々をお誘い合わせのうえ、ご来場ください!在校生、教職員一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております♪



是非ご家族、ご友人の方々をお誘い合わせのうえ、ご来場ください!在校生、教職員一同、皆さまのお越しを心よりお待ちしております♪



呉竹医学会学術大会

平成25年10月18日(金)、姉妹校の大宮校で第25回呉竹医学会学術大会が開催されます。特別講演や実技セッションなど臨床に役立つ内容となっていますので、皆さまのご参加をお待ちしております!(演題等の詳細はホームページでお知らせいたします)

【呉竹心技編集部】TEL:045-471-3731 E-mail:kuretake-info-yoko@kuretake.ac.jp

学校法人呉竹学園

呉竹鍼灸柔整専門学校

TEL:045-471-3731

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-7-24

学校情報や学校見学の内容など、詳細はHPをご覧ください。

<http://www.kuretake.ac.jp/>

呉竹学園

検索

携帯サイトはこちら→

<http://www.kuretake-y.jp>

